

JELES-46ポスター発表
@早稲田大学8号館3階
303/304/305会議室

英語スピーキング能力の可視化による プログラム適用効果の考察

ーレベルの傾向分析と産学連携で
考えるグローバル人材へのステップー

2016年3月12日
NECマネジメントパートナー株式会社
八木 智裕
t-yagi@ce.jp.nec.com

大学等における支援実績（O P I c テスト付帯簡易講義除く）

No.	大 学	実施時期	内 容	スタイル
1	青山学院大学	'14/5/13	Five W's and One H	講義 1 コマ分 セミナー
2	北海学園	'14/10/30	企業からのグローバル人材への期待	セミナー
3	明治学院大学	'14/11/14、21 '15/11/13、27	グローバルビジネス	講義 2 コマ
4	早稲田大学	'15/5/1	キャリアデザイン学	講義 1 コマ
5	東洋大学	'15/6/3	視聴覚教育	講義 1 コマの 半分
6	名古屋大学	'15/9/3	E-learningからテレビ会議交流へ	コメンテーター
7	関西大学	'15/12/5	KU-COILトークセッション	パネル
8	北海道情報大学	'16/1/18	スピーキングは高度なAI コミュニケーション	セミナー
9	愛媛大学	'16/2/17	グローバル時代を楽しみ、活躍するには？	就活セミナー

No.	発表学会	実施時期	内 容	備 考
1	JACET関西支部大会	'13/11/9	英語能力テスト最新事情－英語コミュニケーションテストOPIc－	http://www.jacet-kansai.org/file/2013_test_gaiyou.pdf
2	JACET関東支部大会	'14/6/29	企業における英語コミュニケーションスキルの実態とスキルアップの喫緊性	http://www.jacet-kanto.org/2014convention/2014_Program_20140701.pdf
3	2014 PC Conference	'14/8/10	OPIcを活用した英語コミュニケーションスキルの評価とスキルアップ研修の効果	http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/2014/papers/pdf/contents_2.pdf#search='%E5%85%AB%E6%9C%A8%E6%99%BA%E8%A3%95
4	大学英語教育学会第53回（2014年度）国際大会	'14/8/29	OPIcを活用した英語コミュニケーションスキルの評価とスキルアップ研修の効果	http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/2014/papers/pdf/contents_2.pdf
5	JACET中国・四支部大会	'15/6/6	大学における OPIc (Oral Proficiency Interview by computer) の活用シーンと英語コミュニケーションスキルの実態	http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~bld10/JACET/JACET2015_6_JACET_Chapter_Program.pdf

No.	発表学会	実施時期	内 容	備 考
6	JACET関東支部大会	'15/7/12	OPIc英語コミュニケーションテストの学内実施を通じて見えきたスキル 評価レベルの実態とテスト運営・学習環境課題	http://www.jacet-kanto.org/2015convention/2015_Program_0628.pdf
7	グローバル人材育成教育学会第2回北海道支部大会	'15/8/8	企業におけるグローバル人材育成のあり方と産官学連携のスタイル～NECグループ海外現法を活用したグローバルインターンシップ実践報告～	http://www.j-agce.org/hokkaido-2report/
8	グローバル人材育成教育学会第3回全国大会(JAGCE)	'15/11/14	産学連携によるグローバルインターンシップ実践報告～留学準備支援と海外現法訪問の意義～	
9	日本英語教育学会第46回年次研究集会(JELES)	'16/3/12	英語スピーキング能力の可視化によるプログラム適用効果の考察：レベルの傾向分析と産学連携で考えるグローバル人材へのステップ	
10	日本外国語教育推進機構会誌第三号寄稿 (JACTFL)	'16/3/13	多言語学習の効用と可能性	

NECマネジメントパートナーの八木です。

長年お世話になったNEC生活の最後に自身の体験を通してグローバル人材育成に関わることになり、特に英語スピーキング能力を把握し意識改革を促すべくACTFLベースのOPICと関わることになりました。

本JELESとも2年前初参加したご縁で会長の原田先生、本日は欠席されてますが、その際発表者に厳しい指導をされていた青山学院大学の小張先生等と知り合うことが出来、記念すべき会員番号100で参加させて頂いております

その後畑違いの大学教育現場や学会に厚かましくも参加させて頂きながらOPIC評価の妥当性や、評価を活用した教育の現場を拝見して参りました。

本日はその一部をポスター掲載し、評価のあり方やそれに伴う効果的な教育につき、ご意見・ご指導をお願いします。

是非、ポスター場所にてご意見頂けますと共に、先生方の現場で機会を頂き評価適正の検証並びに育成の効率化を見出せるよう、ハンズアウトにおいて関連事例を同系色にする配慮を施し、学生さんに配布するマンガも持参しましたので、お持ち帰り頂いてからのフィードバックでも結構です。

未来の日本を担う若者に少しでも世界を知り、楽しみ、活躍出来るような貢献をして参りたいと思いますので、宜しくお願いします。

A C T F L 基準と今回の数字分析の関係

ポスター部分

レベル名称	今回実証 適用値	言語能力	米国での職務ガイド	修得対象	FSI到達 ガイド
Advanced Low(AL)	9	自分の考えや経験を流暢に表現できる。討論や交渉、説得など実際の業務で駆使することができる。	▪ Customer Service Agent, Social Worker, Claims Processor, K-12 Language Teacher, Police Officer, Maintenance Administrator, Billing Clerk, Legal Secretary, Legal Receptionist	▪ Undergraduate language majors with year-long study abroad experience	1320h
Intermediate High(IH)	8	文法的に大きな間違いが無く言語を駆使し、基本的なビジネスや会議でコミュニケーションができる。	▪ Auto Inspector, Aviation Personnel, Missionary, Tour guide	▪ Undergraduate language majors without year-long study abroad experience	
Intermediate Mid(IM3～IM1)	7 6 5	小さな文法的ミスはあるものの、長いセンテンスを駆使し、基本的なコミュニケーションができる。 ※IM3(上)、IM2(中)、IM1(下)に細分化	▪ Cashier, Sales clerk(highly predictable cintexts)	▪ L2learners after 6-8 year sequences of study(AP,etc.) ▪ 4-6 semester college sequence	
Intermediate Low(IL)	4	日常的な話題はセンテンスで話すことができる。会話に参加し、興味のある話題は自信を持って話すことができる。	▪ Receptionist, Housekeeping Staff	▪ L2learners after 4 year high school sequence or 2 semester college sequence	480h
Novice High(NH)	3	簡単な単語や句を駆使してコミュニケーションができる。		▪ L2learners after 2 years of high school language study	
Novice Mid(NM)	2	既に暗記している単語やセンテンスで話すことができる。			
Novice Low(NL)	1	限定的ではあるが、単語を羅列して話すことができる。			

OPIcプリーポスト評価立合で興味を覚えた結果（抜粋）

No	サイト	クラス	n	プリM	SD	ポストM	SD	効果量	UP/DN率	AL人数	実用比率	到達比率	備考
1	東京大学	工学部Mスカイプ	20	6.8	1.54	7.5	1	0.42	65	1	70	100	RISTEX検証対象
2	青山学院大学	経済学部ゼミ生	30	5.8	1.58	6.2	1.71	0.25	20		36.7	60	
		3年次	19	5.6	1.84	5.9	1.87	0.16	36.8		36.8	63.2	
		同上卒業前	19	5.9	1.87	6.2	1.89	0.16	21.1	2	31.6	73.7	
		新3年生	24	5	1.57					2	8.3	45.8	樺は繋がるか？
3	関西大学	KU-COIL	13	4.8	1.36	5.2	1.09	0.29	46.2		7.7	76.9	
4			20	4.7	1.23	4.9	1.02	0.16	25		5	70	
5			13	4	1.15	4.6	1.12	0.54	61.5			53.8	科研費
6			99	3.9	1.09	4.1	1.04	0.22	24.2		2	26.3	
7			8	3.8	0.46	4.1	0.64	0.65	37.5			25	プリ19名
8			14	3.8	0.58	3.9	0.86	0.17	7.1			21.4	
9			19	3.8	1.08	3.8	1.26	0.00	5.3			31.6	
10			16	3.6	1.26	3.8	1.33	0.16	18.8		6.3	12.5	科研費
11	実践女子大学短期大学部	教材統制スカイプ	23	3.4	1.08	3.7	0.83	0.28	21.7			17.4	
12	実践女子大学短期大学部	一般スカイプ	19	3.1	0.85	3.3	0.82	0.24	26.3			5.3	
13	実践女子大学短期大学部	海外短期留学	20	3	0.82	3.7	0.75	0.85	40			10.0	
14	西九州大学	留学準備短期合宿	29	2.5	0.63	3.1	0.75	0.87	55.2			0	
15	関東国際高校	1年生ハワイ	20	3.0	0.83			#VALUE!					
16	某中学校一貫校	中学3年生	69	2.8	0.71	3.4	0.76	0.85	59.4				オーストラリア修学旅行の中間層半分のポストテスト
			494										
cf	高校3年生26年度調査		16,583	1.94									

2年のオンサイト実証から得た認識について

大学進学者は文部科学省高校3年測定者の上位層

スピーキングテストOPIcを試行するクラスは更に上位層

- 大学を偏差値で比較しがちだが、そこで認められるほどの差異は無いし、今回の評価は比較論を展開目的としていない
- クラス適用故、大規模評価が困難。得た知見の相互有効活用が重要と考える。

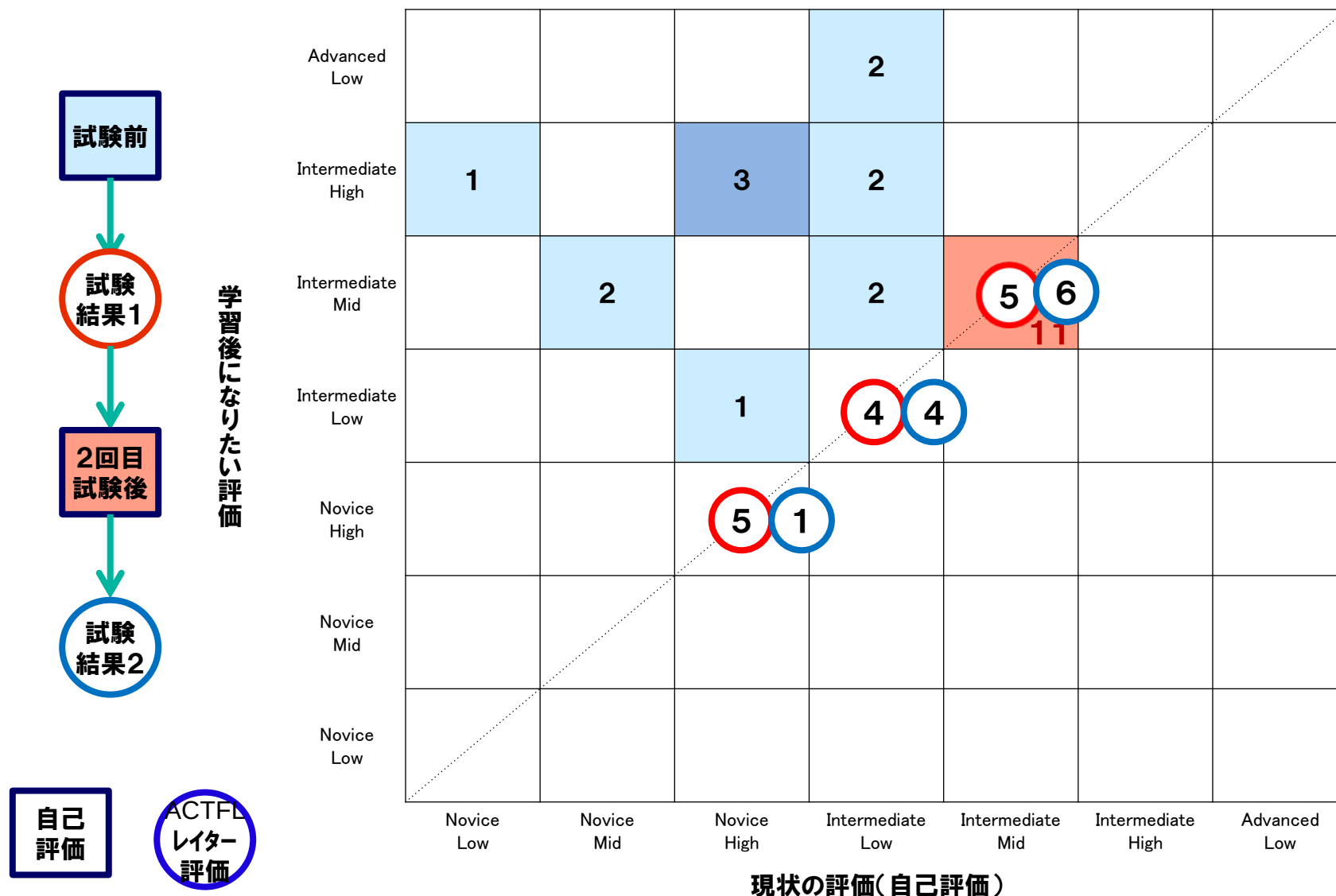
ACTFLが設定するL2の大学卒業要件到達には更なる努力が必要

- 留学準備の国内での短期研修(西九州大学)
- 短期語学留学研修の成果(実践女子大学短期大学部)

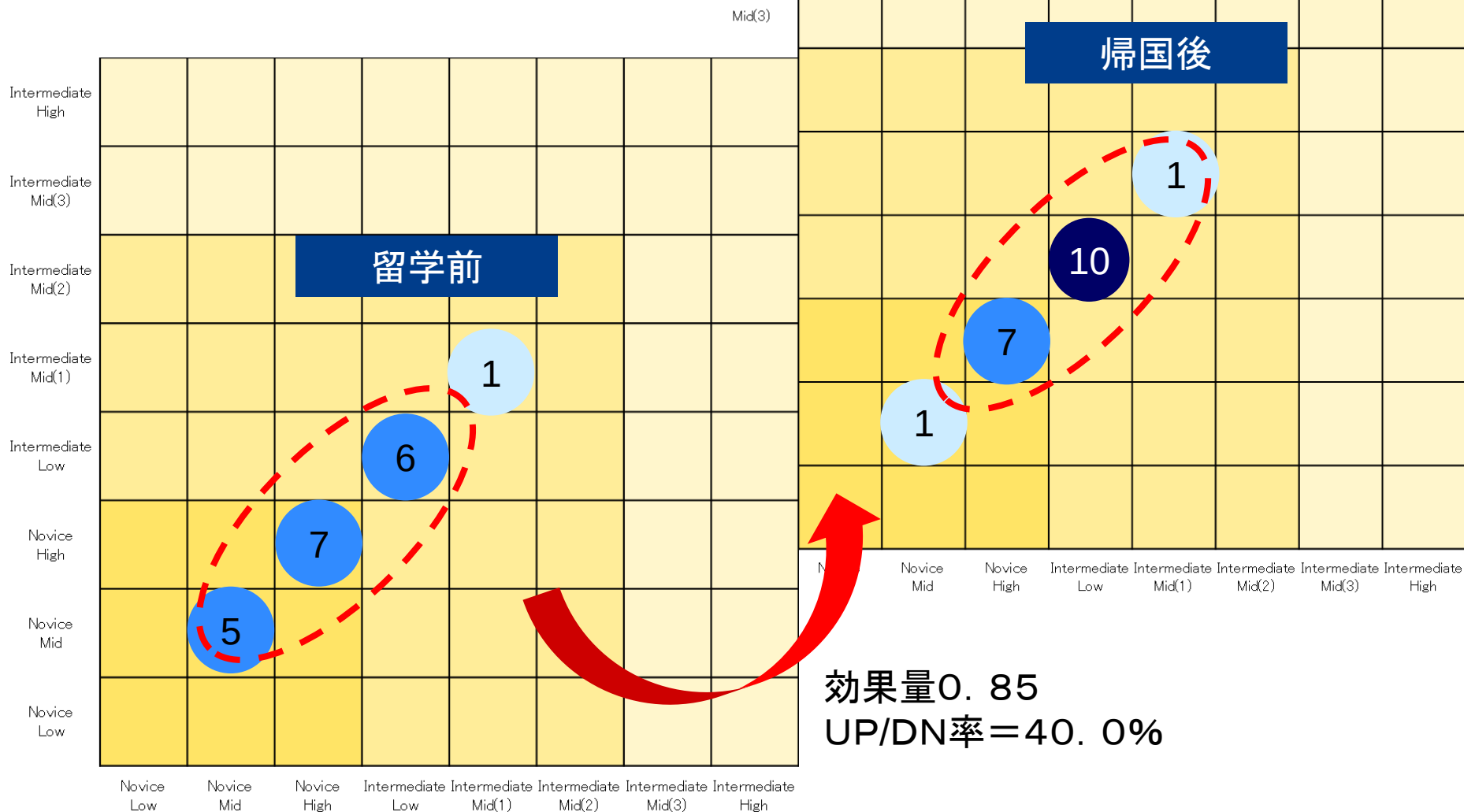
企業が求める実用レベル(サムソンはIH以上)には、産学連携した努力が必要

- サムソンはOPIcの8年に渡る入社足切り(文系IM以上<ACTFL通り>、理系IL以上)適用を経て、3年前からTOEIC-L/R併用停止
- 一般的に大学院進学希望者を除き、大学4年生での成長は認められないが、青山学院大学のゼミ生においてはシンガポールにおける企業訪問を通じての実体験が4年生迄モチベーションを維持(試験英語→実社会での利活用英語)
- 同世代かつ興味領域の交換意識が高い外国人学生(MITの日本に興味ある学生)との会話を支えるスキル習得コンサルは効果大きい、求められるレベル(JAXA/NASA並:OPIでAH)の見せ方・タイミングが今後の課題

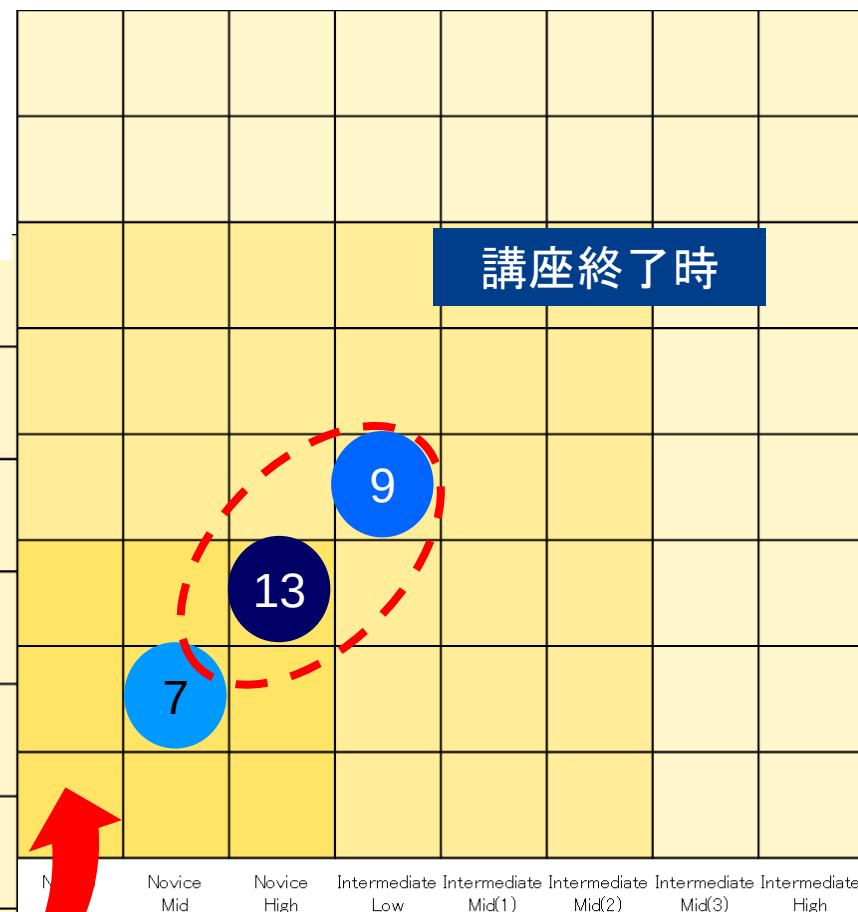
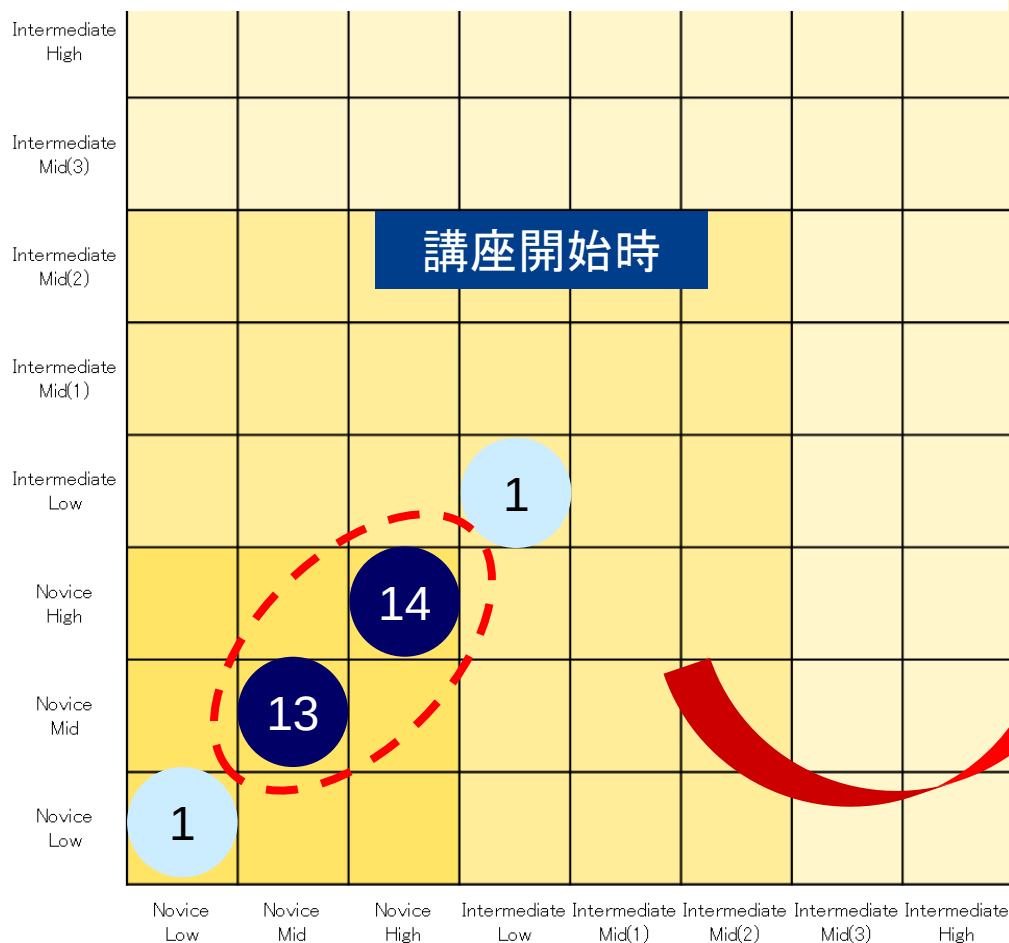
東京大学での知見をベースに設定した学校オンサイト実施における標準的雛形



- ◆ 留学そのものが動機付け
- ◆ 低位層に上位の成長が制約受ける？



- ◆ 留学の動機付けが無いと難しい？
- ◆ 今年の継続調査：留学結果
並びに今年の受講生



効果量 0.87
UP/DN率 = 55.2%

		レベルの変化(試験前からのUP/DN3年・4年・通年)			
		−1	±0	+1	+2
試験前の結果レベル	Advanced Low	1人	1人	−	−
	Intermediate High	2人	3人3人2人	2人1人	−
	Intermediate Mid(3)		1人1人1人		
	Intermediate Mid(2)	1人1人	3人1人1人	2人	3人1人2人
	Intermediate Mid(1)			1人	
	Intermediate Low	1人1人	4人3人3人	1人2人2人	1人
	Novice High		1人	2人1人1人	

	対象人数	UP/DN	差分	UP率(差分/人数)
青学(小張ゼミ)				
3年次	19人	+9/−2	+7	+36.8%
4年次	19人	+8/−4	+4	+21.1%
ゼミ期間	19人	+11/−1	+10	+52.6%

対象人数とUP/DNポイント(変化値×人数)の差分からUP率を算出(算出例:対象者全員が1ポイントUPすると100%となります。)

ゼミ空間は適度な緊張感で脱落者を防ぐものの、海外実社会体験のモチベーションが効くのはIL以上の意欲継続の可能性を感じた者に限られ、通常を越える一気の成長を見せる効果を与えることがある。

参考資料：青山学院大学経済学部ゼミ生・APAC訪問研修風景（9／8）



- 前半のAPAC・シンガポールの歴史・概要に関しては、特にシンガポールの計画性・実行力の高さに関心が高かったです。
- 続く事業紹介に関しては「NECってそんな事業をやっているのか」とこちらも発見が多かったという印象です。
（安心、安全といったタイムリーなキーワードに合った事例でしたので、アピールとしては良かったと思います。）
- 後半のHRパートに関しては、グローバルで活躍するためには何が必要かというテーマで英語での質疑もあり、就職活動も控えていますからより自分ごととして聞いていたようです。

東京大学検証スケジュール（J A C E Tー53抜粋）

ポスター部分

4、5月
OPIc
1回目

5月
カウンセリング
1回目

6月
カウンセリング
2回目

7月末
OPIc
2回目

	M-Skype授業金曜日	4/4		4/21 (月)	4/22	4/25	4/29	5/2	5/6	5/13	5/16	5/20	5/23	5/30	5/27	6/3	6/17	6/20	6/24	7/1	7/4	7/8	7/15	7/18	8/2(土)
M-Skype			M - S k y p e																						
OPIc							18:30～ OPIc ① 受験 @NEC			13:00～ オンライ ン 成 績 レポート 閲覧可 ①	10:00～ OPIc② 受験 @NEC	10:00～ OPIc③ 受験 @NEC												19:00～ OPIc 受験 @NEC	13:00～ オンライン 成績 レポート 閲覧可
Rosetta Stone	* 5月のカウンセリング以降 は、全員Level2以上から のスタートとなる。				Roset ta Stone 登録 作業	Level1 コア	Level 1発音・語彙・文法・リスニング/オ ンライン会話・ゲーム・Studio					カウンセリング終了後*, 各自のカリキュラ ムに沿って自習。1コアレッスン終了毎にメ ール報告。その後、各オプションの学習 を進め、レベルのコアレッスンへ進					カウンセリング終了後、各自のカリキュラ ムに沿って自習。1コアレッスン終了毎にメ ールで報告。その後、各オプションの学習 を進め、レベルのコアレッスンへ進							各自自由 意思で自 習。(～年	
ARCS40項目・ 簡易ARCS・授 業終了後のア ンケート																									
Wolters																								NECと学生間 でWolters実 施のメールや り取り	
BIG5																								NECと学生間 でBIG5実施 のメールや り取り	
自由記述ア ンケート																								メール添付で アンケート実施 ※2回目の OPIc結果判 明後。	

モチベーション
測定

モチベーション
測定

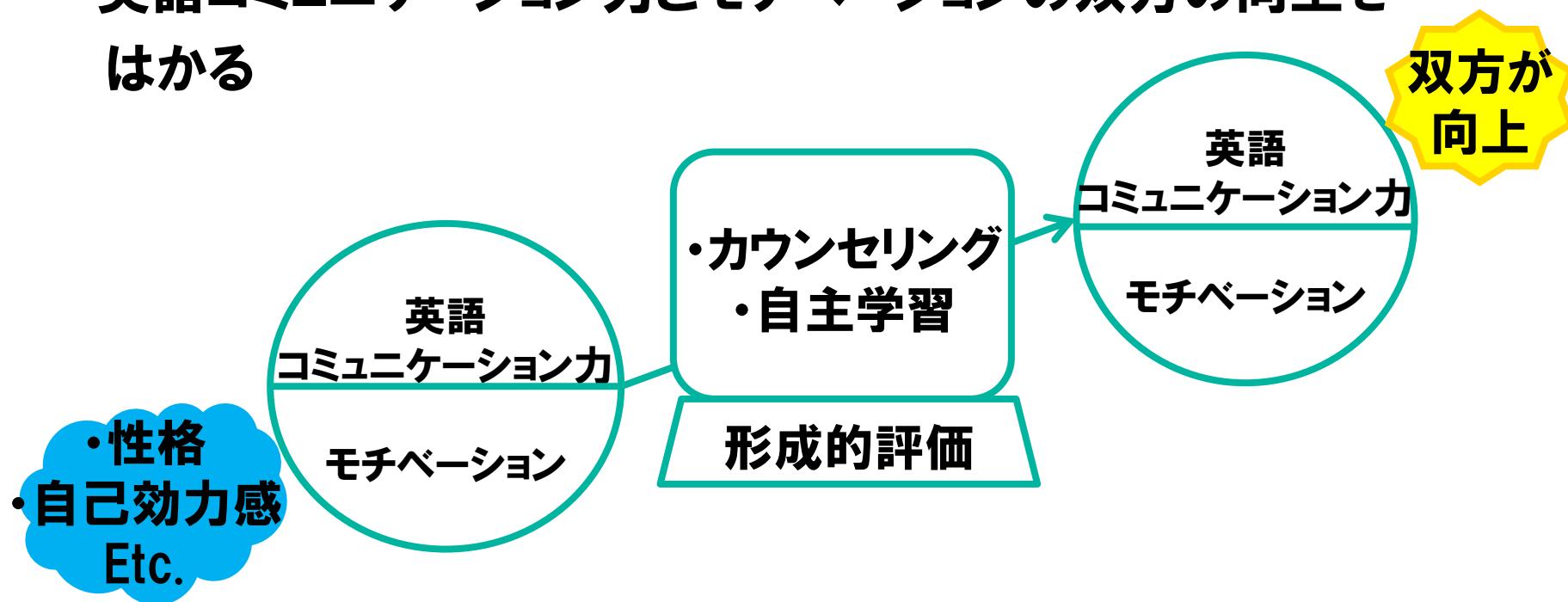
モチベーション
測定

モチベーション
測定

ロゼッタ：
レベル1
自主学习

ロゼッタ：
各状況に沿った
コンテンツを
自主学习

- ・性格、自己効力感やモチベーションなどの個人的特性を踏まえサービス提供側は形成的評価に基づきカウンセリングを提供する。サービス受給側はカウンセリングに基づき自主学習を行う
- ・英語コミュニケーション力とモチベーションの双方の向上をはかる



Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。